

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

IoT × **AsReader**  Digital
Transformation

2023年8月期期末 決算説明資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2023年10月13日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

第一部：第17期（2023年8月期）期末業績報告

- (1) 連結業績
- (2) セグメント別業績
- (3) 地域別業績
- (4) K P I
- (5) 株式関係

第二部：その他企業情報

- (1) 2024年8月期 業績予想
- (2) 直近のリリース情報
- (3) 直近の展示会出展予定



第一部：第17期（2023年8月期）期末業績報告



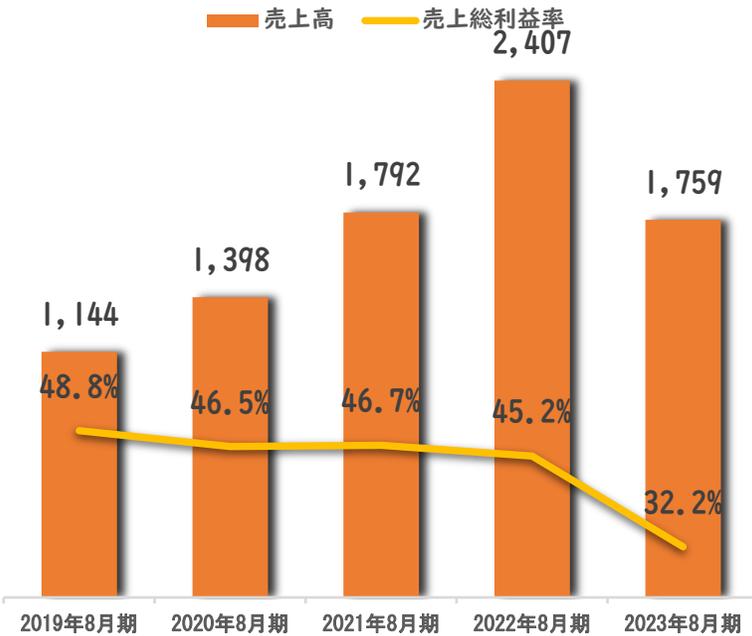
(1) 連結業績



【財務ハイライト】直近5期間 連結ベース

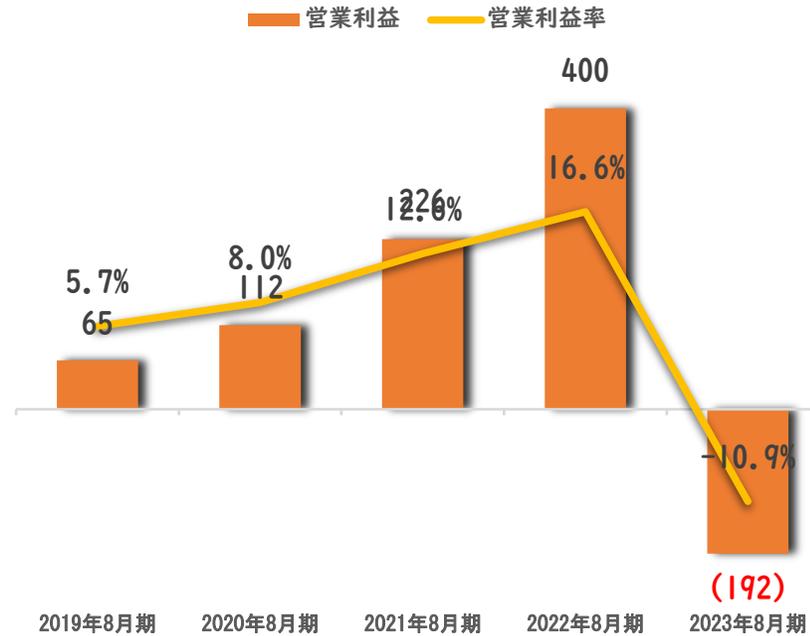
売上高と売上総利益率

(単位：百万円)



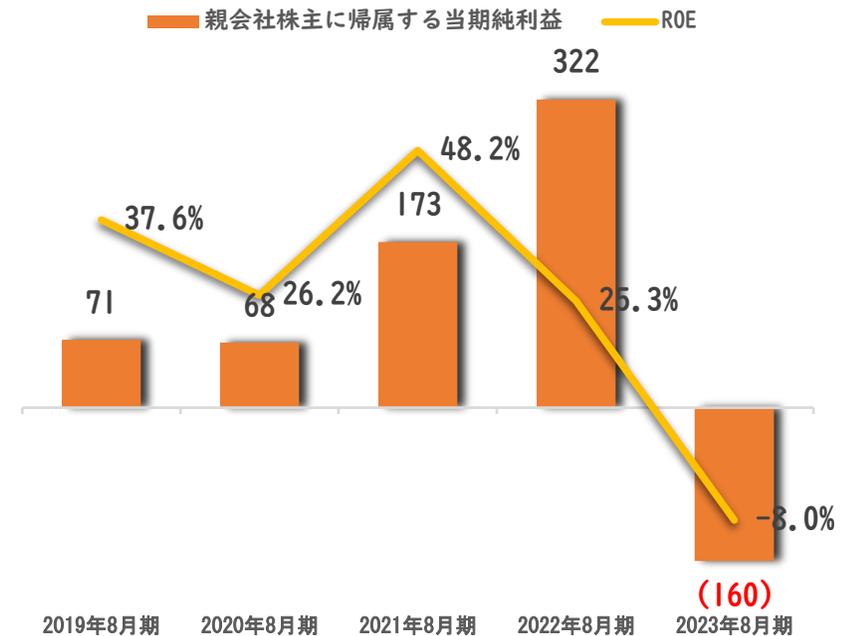
営業利益と営業利益率

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する利益とROE

(単位：百万円)



- 前期比 売上高 26.9%の減収 営業利益▲192百万円（前期は400百万円）
- 売上総利益率は売上総利益率の高い特需案件が前期にあったこと、半導体等の部材価格高騰と為替相場（円安）の影響等で▲13.0%
- 営業利益率は▲10.9%と前期16.6%から27.5%の悪化。

【損益状況】 2023年8月期期末業績予想比較

(百万円)

	2023年8月期 期末 (業績予想)	2023年8月期 期末 (当期実績)	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,821	1,759	▲ 61	▲3.4%
売上総利益	658	566	▲ 91	▲14.0%
売上総利益率	36.1%	32.2%		
営業利益	▲ 137	▲ 192	▲ 54	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 144	▲ 160	▲ 16	—
当期純利益率	—	—		

■業績予想比較について

売上高については、海外案件の第17期中の納品が業績予想作成時に想定した数値程進まず、業績予想比3.4%の減少の1,759百万円となりました。

営業利益については、販管費の計画比減少があったものの、業績予想作成時に想定した売上総利益率よりも3.9%悪化したことにより、業績予想比▲54百万円の▲192百万円となりました。

【損益状況】 2023年8月期期末前年同期比較

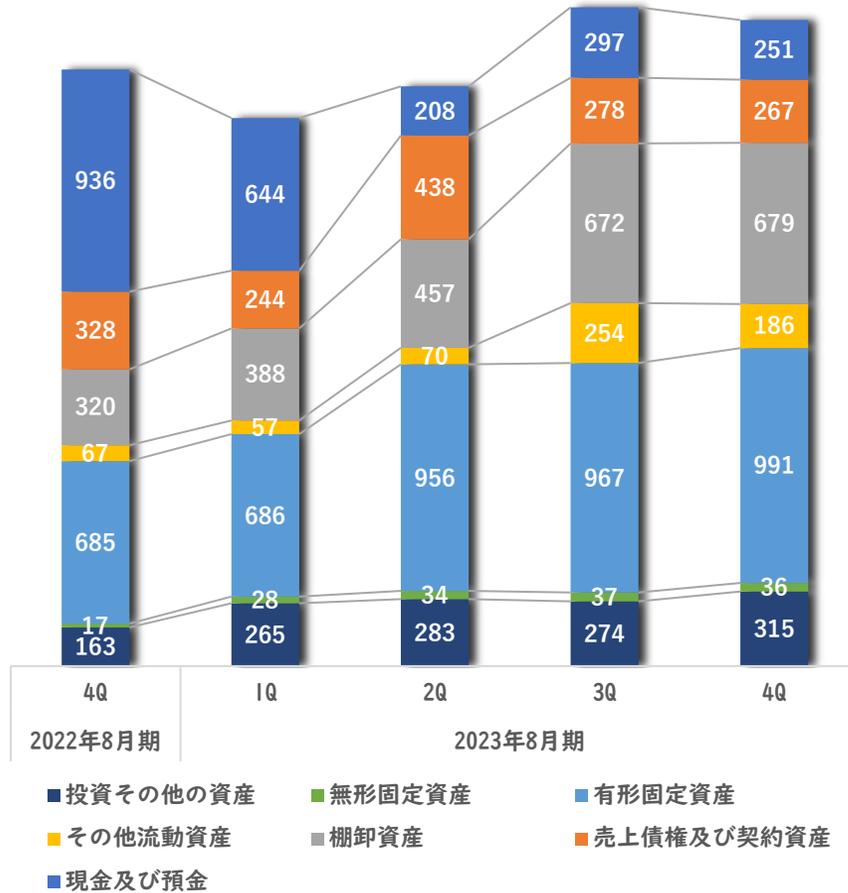
	2022年8月期 期末 (前期実績)	2023年8月期 期末 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,407	1,759	▲ 647	▲26.9%
売上総利益	1,087	566	▲ 126	▲9.6%
売上総利益率	45.2%	32.2%		
営業利益	400	▲ 192	▲ 592	—
営業利益率	16.6%	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	322	▲ 160	▲ 483	—
当期純利益率	13.4%	—		

■前年同期比較について
前期（2022年8月期）については、海外大手飲料メーカー向けの大型納品やRFID関連の特需案件があったことが1つの要因でした。これらの案件に相当する案件の獲得に向け当期（2023年8月期）も営業活動を行っていましたが、同規模の納品や特需が受注しきれなかったこともあり、売上高は前年同期比26.9%減の1,759百万円となりました。

【連結貸借対照表】2023年8月期期末

(1) 資産

(百万円)



(2) 負債及び純資産

(百万円)



第3四半期からの動き

【(1) 資産関係】

① 現金及び預金の減少
46百万円

② その他流動資産の減少
68百万円

【(2) 負債及び純資産関係】

・ 負債の減少
短期借入金の減少
40百万円

【連結キャッシュ・フロー計算書】2023年8月期

(百万円)

	第14期	第15期	第16期	第17期
	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
営業キャッシュ・フロー	10	380	300	▲ 687
投資キャッシュ・フロー	▲ 56	▲ 303	▲ 518	▲ 491
財務キャッシュ・フロー	119	16	780	491
手許資金残高	247	348	936	251

①営業キャッシュ・フロー
前年同期比で987百万円減少しております。これは2023年8月期における営業損失による影響と、棚卸資産の増加によるものであります。

②投資キャッシュ・フロー
研究棟建設資金等の支出351百万円、CANDY HOUSE JAPAN社との資本業務提携時の出資101百万円が主な内訳になります。

③財務キャッシュ・フロー
従業員等の新株予約権行使時払込金による収入31百万円と、短期借入金の純増460百万円によるものであります。

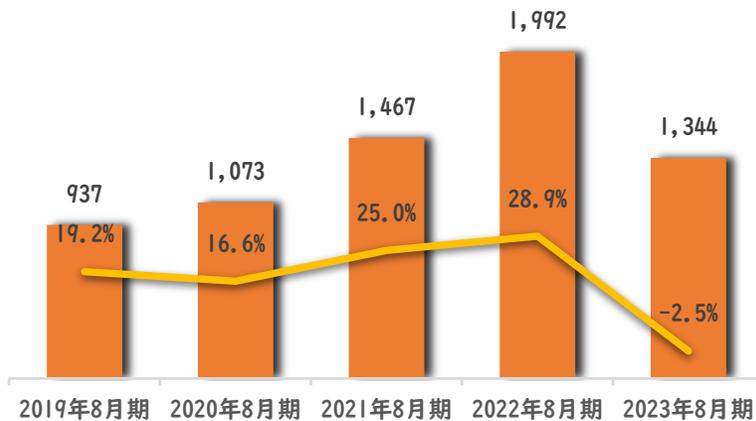
(2) セグメント別業績



【セグメント別業績】

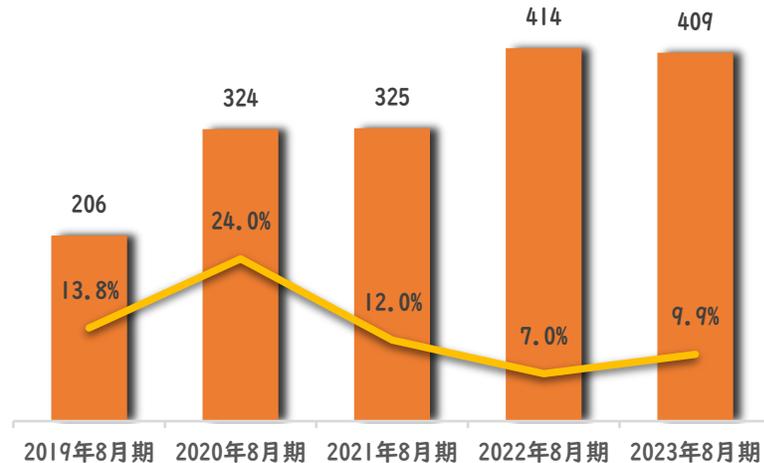
AsReader事業

売上高 セグメント利益率 (単位：百万円)



システムインテグレーション事業

売上高 セグメント利益率 (単位：百万円)



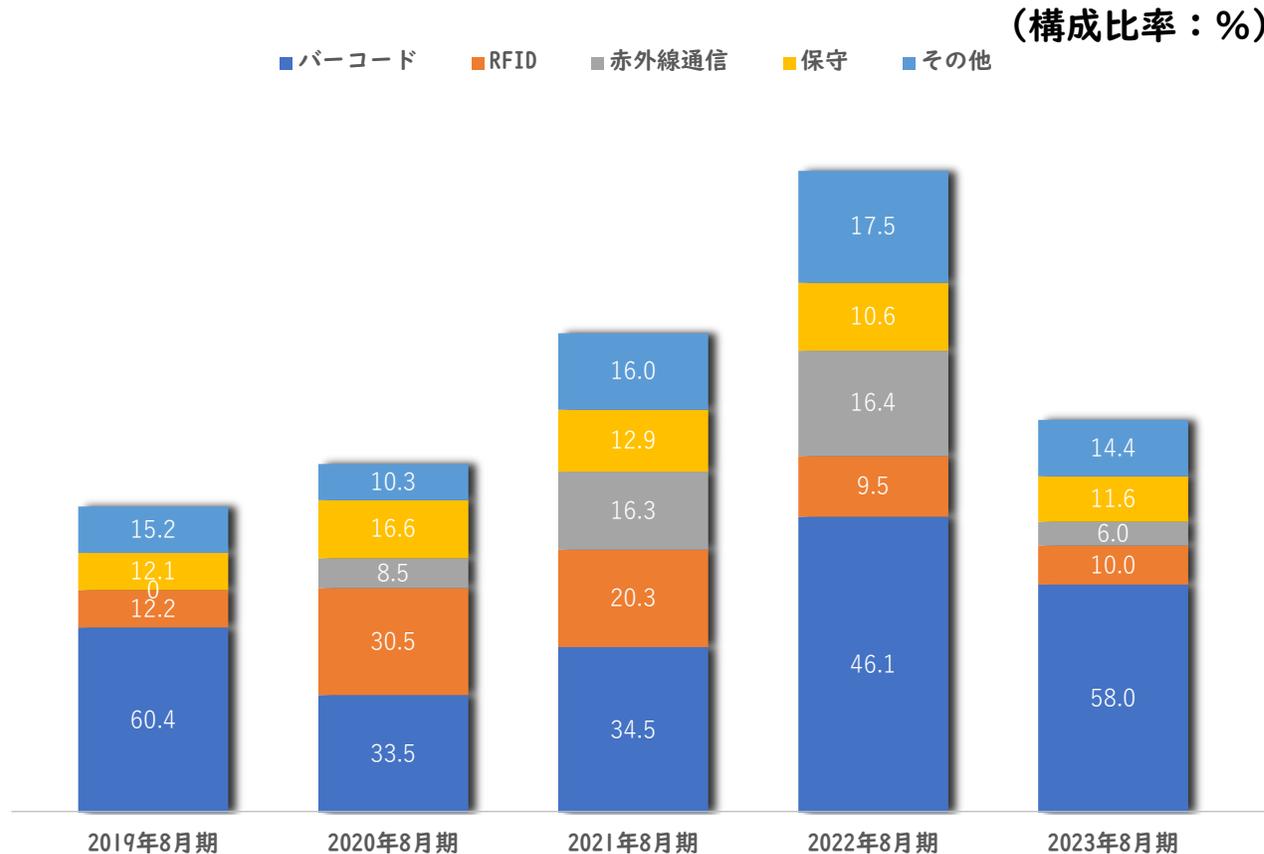
■AsReader事業

2022年8月期は海外大手飲料メーカー向けの大型納品やRFID関連の特需案件がありました。これらの案件に相当する案件の獲得に向け2023年8月期も営業活動を行っておりましたが、同規模の納品や特需が受注しきれなかったこともあり、売上高が減少する結果となりました。

■システムインテグレーション事業

2023年8月期は売上高は減収となったものの、不採算案件の発生抑制によりセグメント利益は増加、利益率も改善する結果となりました。

【AsReader事業 製品種類別の販売構成推移】



■製品種類別の販売構成推移

2023年8月期においても、前期から引き続き、バーコードリーダーの構成割合が多い結果となりました。これらは、既にある市場での専用機からのスマートフォンへの置き換え需要であり、2023年8月期通期においてもバーコードリーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

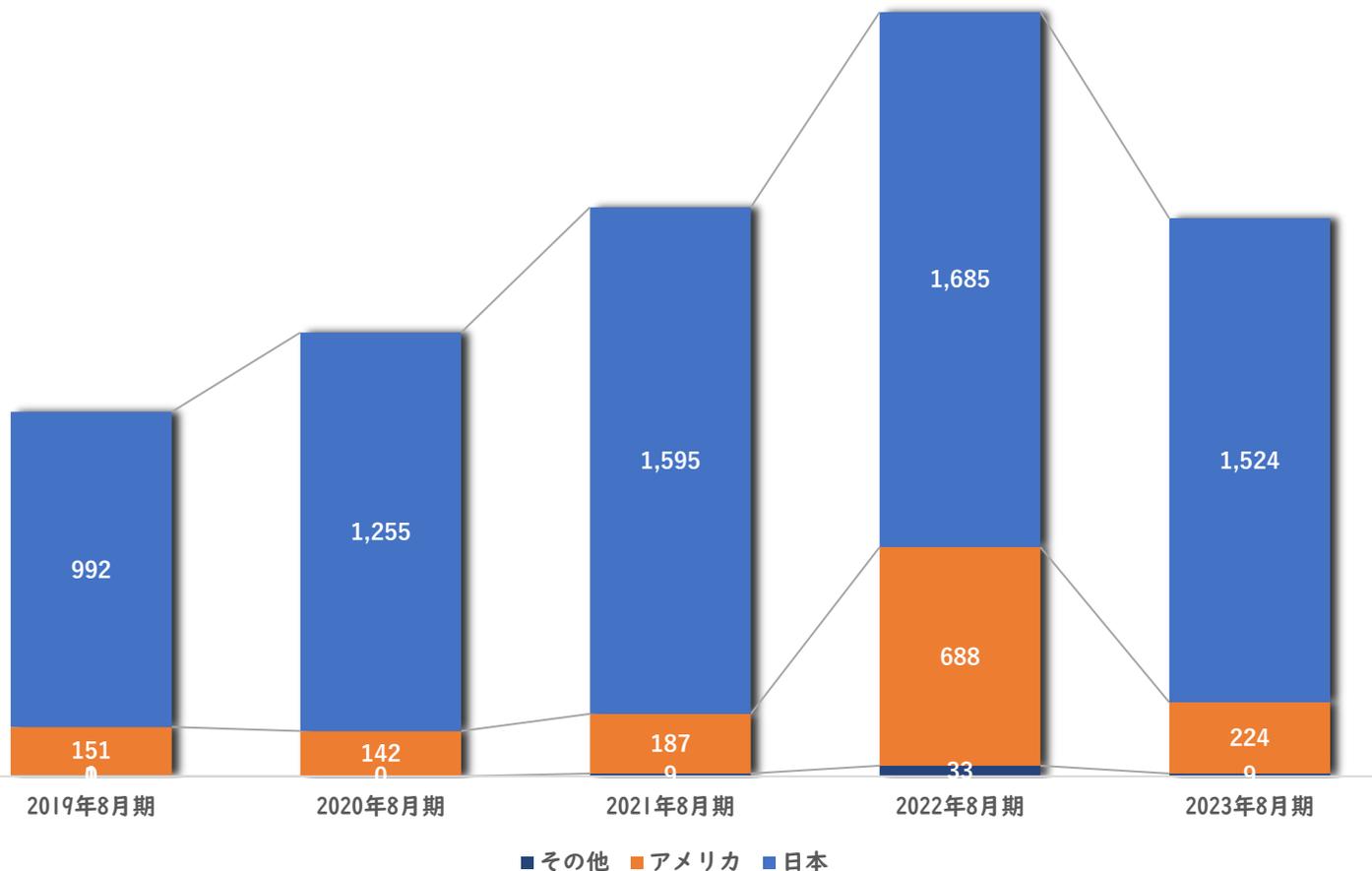
店舗系企業がコロナ開けから業績回復してくることにより、今後は世界的にRFID案件や画像認識案件なども増加すると考えております。また、画像認識技術のサービスも、これからリリースを実施していきますので、それらも増やしていきたいと考えております。

(3) 地域別業績



【地域別売上高】

(単位：百万円)



■ 日本

企業の設備投資の控えなどにより、また2023年8月期に計上したRFID関連の特需案件のような大型案件の獲得が叶わず、前年同期比▲9.5%の減少となりました。

■ アメリカ

前期（2022年8月期）は海外大手飲料メーカー案件の大型納品がありましたが、当期（2023年8月期）も継続を見込んでおりましたが、それらの延期、また、その他の同規模の納品が受注しきれず、前年同期比▲67.3%となりました。

■ その他

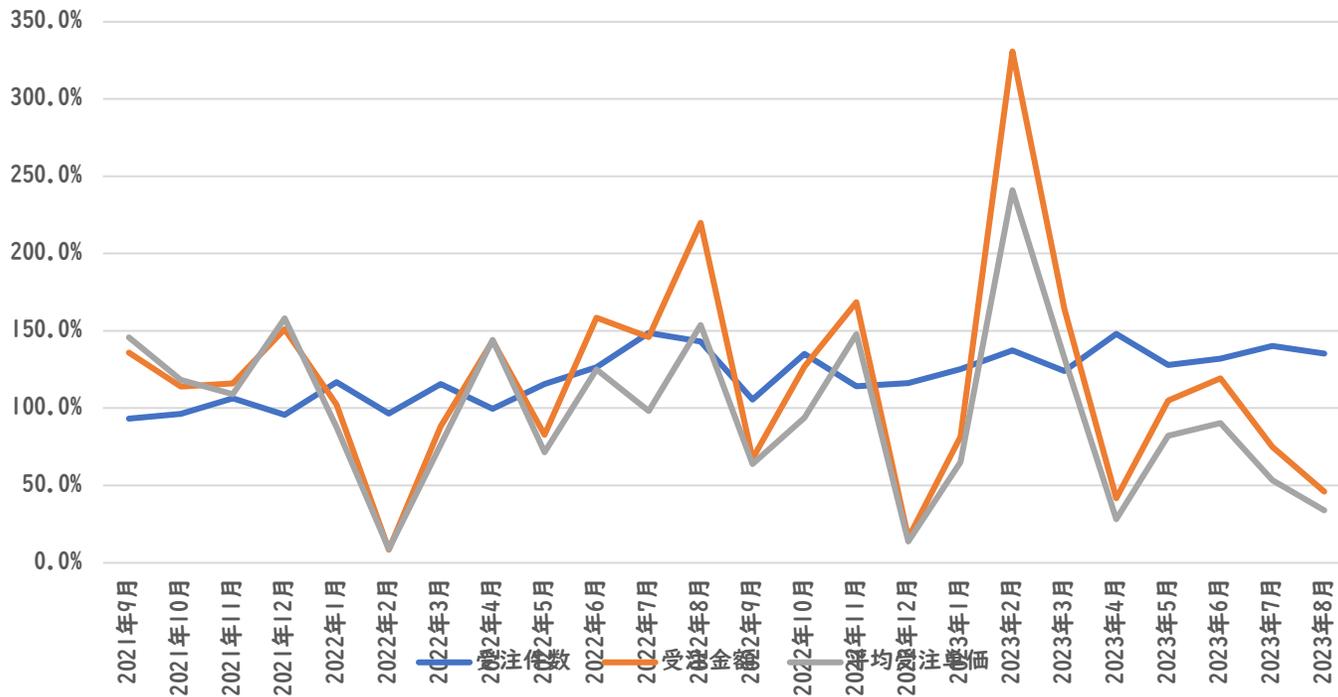
欧州、中国での販売になります。

(注) アメリカ、欧州、中国の売上は決算月のズレの影響で7月から翌年6月までの実績で連結財務諸表を作成しております。

(4) KPI



【受注関連情報（前年比率）】



【総括】

2022年9月～2023年8月については、受注件数は増加したものの、受注金額と平均受注単価は減少となっております。

受注件数は増加で受注単価が減少ということは、つまりは大型案件が景気等の影響で延期等になったことが原因と考えております。今後はインバウンドの需要が増えることなどからも、特に店舗系の大型案件も進捗していくものと考えております。

【受注件数】

期間中、前年同月比を上回る受注獲得を実現しており、結果、2023年8月期末時点においては前年比増加で推移しております。

【受注金額、平均受注単価】

2022年12月の受注金額の前年比減少の影響が大きく、結果、2023年8月期末時点においては前年比減少で推移しております。

(5) 株式関係



【大株主の状況】

株主名	2023年2月28日時点		2023年8月31日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	3,200,000	45.1%	3,200,000	45.0%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	278,300	3.9%	278,300	3.9%	資本業務提携
鈴木規之	162,000	2.3%	162,000	2.3%	代表取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	120,000	1.7%	120,000	1.7%	ベンチャーキャピタル
株式会社SBI証券	62,130	0.9%	119,230	1.7%	証券会社
個人株主様	121,000	1.7%	116,000	1.6%	個人投資家
楽天証券株式会社	121,300	1.7%	100,100	1.4%	証券会社
薛文宝	60,000	0.8%	60,000	0.8%	執行役員
個人株主様	51,000	0.7%	51,000	0.7%	個人投資家
野村證券株式会社			43,000	0.6%	証券会社
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	47,200	0.7%			証券会社
その他	2,832,470	40.5%	2,841,770	40.5%	2023年2月28日現在 6,319名 2023年8月31日現在 5,862名
合計	7,055,400	100.0%	7,091,400	100.0%	—

【株価推移】



・当期（2022年9月1日～2023年8月31日）の株価推移を掲載しております。

・期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。
最高株価 1,585円
最低株価 777円

・更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

第二部： その他企業情報



(1) 2024年8月期 業績予想



【通期業績予想】2024年8月期

	2024年8月期 (業績予想)		2023年8月期 (当期実績)		(百万円)	
	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,645	885	50.3%	1,759		
売上総利益	1,026	460	81.3%	566		
売上総利益率	38.8%			32.2%		
営業利益	100	292	—	▲ 192		
営業利益率	3.8%			—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	227	—	▲ 160		
当期純利益率	2.6%			—		

■売上高

2023年8月期は、製造業界・自動販売機業界・医療業界・食品業界・卸売業界といった様々な業界へ納品した結果、1,759百万円の売上を計上いたしました。

2024年8月期は、自動販売機業界、物流業界、小売業界、医療業界向けを軸とした販売活動を行い、50.3%の増収を計画しております。

■売上総利益

2023年8月期は円安による影響により売上原価が高騰することとなりました。

2024年8月期は原価改善等を実施し、売上総利益率の改善を目指します。

■営業利益

2023年8月期は研究棟・倉庫の新設に伴う消耗品費や人員増加により▲192百万円となりました。

2024年8月期は固定費の増加を抑制し、100百万円を計画しております。

■親会社株主に帰属する当期純利益

2023年8月期は為替差益11百万円の影響もあり▲160百万円となりました。

2024年8月期はこのような営業外損益、特別損益の発生は計画時点では想定しておらず、67百万円を計画しております。

(2) 直近のリリース情報



アスタリスク従業員持株会 加入率8割を達成

社員の経営参画意識を高め、中長期的な企業成長に向けて全員経営型の組織を強化するために設立したアスタリスク従業員持株会の加入率が81.42%となりました。

東京証券取引所上場内国会社の平均加入率 37.65%*を踏まえると、非常に高い加入率と考えております。

(*出典：東京証券取引所 2021年度従業員持株会状況調査結果の概要について)

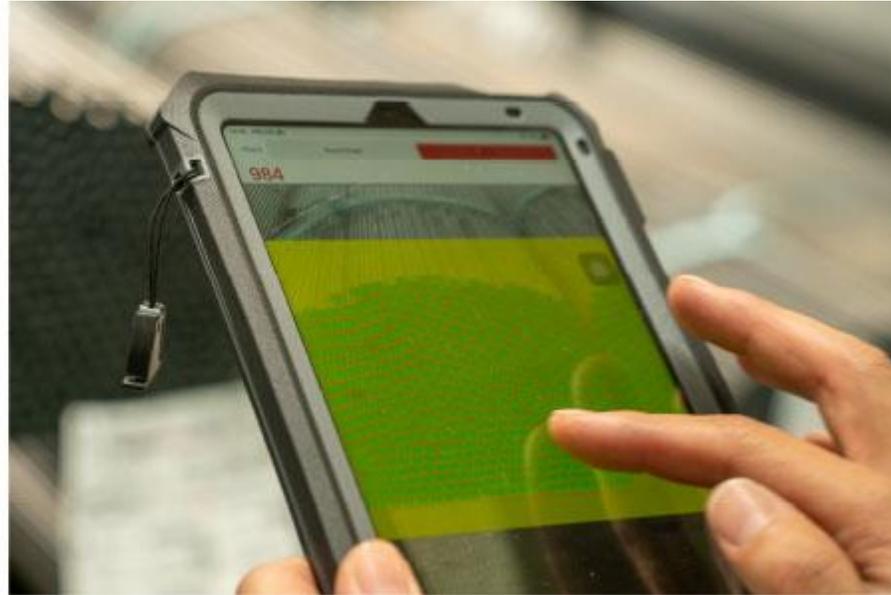
当社は、自社株式の取得及び保有を通じて社員自身が株主となることで全従業員の経営参画意識を高められると考えております。多くの従業員が株主の一員となることで、従業員以外の株主の皆様と同様の視点を持ち、更なる企業価値の向上を図り、中長期において株主の皆様と会社及び従業員が成功を分かち合うことを目的としており、また、安定的な当社株式購入の需要確保及び出来高増加に寄与し、株式市場における流動性向上につなげることも企図しております。

自動レジを用いた画期的な店舗として 本場さぬきうどん店「こがね製麺」を発表



クルーは、香川県を中心に「こがね製麺所」などの本格さぬきうどんを展開しており、香川県下で最大の店舗数を誇っております。これまでの本場の「製麺技術」に加え、アスタリスクが独自に研究してきた「人追跡（画像認識）レジ技術（特許第7262715号）」、「顔認証での特定システムの技術（特許第7320887号）」などに加え新たな技術として「重量センサー技術」「音声制御技術」などの特許申請中の技術も組み合わせ、今までにないセルフタイプのうどん店を展開することになりました。一号店として滋賀県栗東市（アスタリスク物流倉庫が4階に入っている滋賀中央ビル1階）にて自動研が出店をし日常業務の中で技術確立をさせた後、随時全国へと展開をしてまいります。

【導入事例】丸一鋼管株式会社様 アプリ「CountPipe」導入 [品質管理] 画像認識アプリで、ヒューマンエラーが0（ゼロ）に！



グループ全体で、国内生産拠点15 箇所、販売拠点28 箇所、さらに海外7カ国に20拠点を展開する「パイプのリーディングカンパニー」丸一鋼管株式会社様。多様化する顧客ニーズに対応し、絶えず品質向上に務める生産現場で、これまで人力に頼っていた鋼管の個数確認に画像認識/AI技術を用いて開発した弊社アプリ「CountPipe」を導入。

「CountPipe」を使って一瞬で鋼管の個数を把握することができるようになり、丸一鋼管株式会社様の業務効率向上に役立っております。

毎年8月5日は『AsReaderの日』記念日として認定を受けました！



アスタリスクが提供する「AsReader」とは、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末で利用できる、バーコードリーダーやRFIDリーダーライター、さらに画像認識やAIなどを活用して『モノ』を認識する技術の総称です。

AsReaderブランドとしてこれらの製品やアプリを開発し、スマホとAsReaderを組み合わせることにより、製造業や物流業、医療関係機関など多種多様な企業で利用され、業務のスマート化を進めて今年で10周年を迎えます。

AsReaderによる「モノ認識」と「モバイル」を使った業務改革を認知してもらうことを目的に、日付は「AsReader」の最初の商標登録申請が2013年8月5日であったことから決定しました。

(3) 直近の展示会出展予定



2. (3) 直近の展示会出展予定

【国内】

第3回スマート物流EXPO（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年1月24日（水）～26日（金）

対象：物流系

リテールテックJAPAN2024（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年3月12日（火）～15日（金）

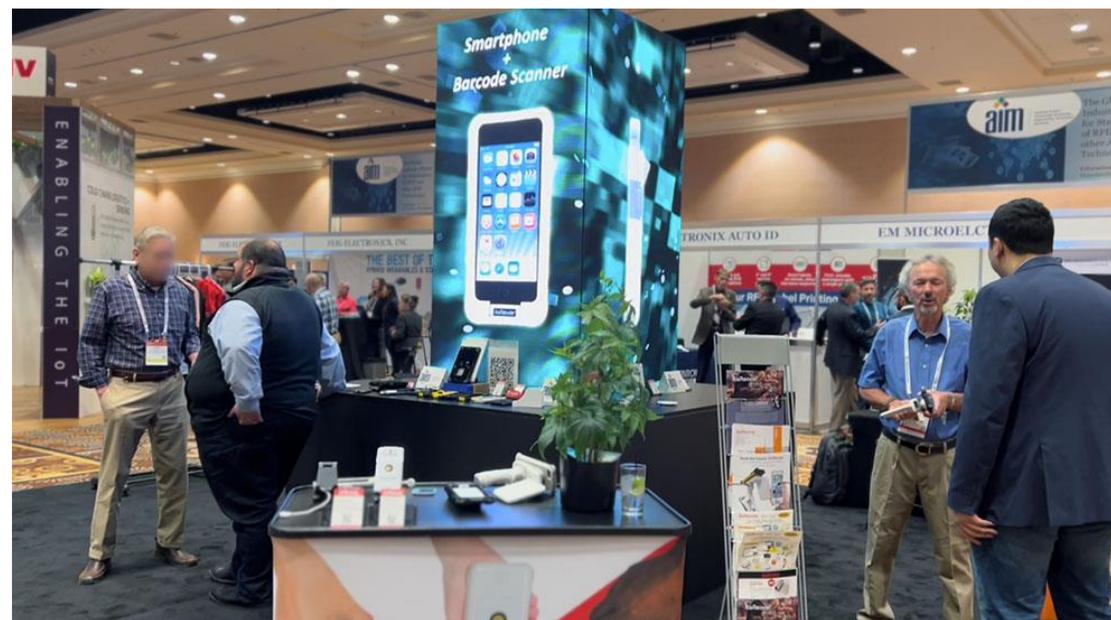
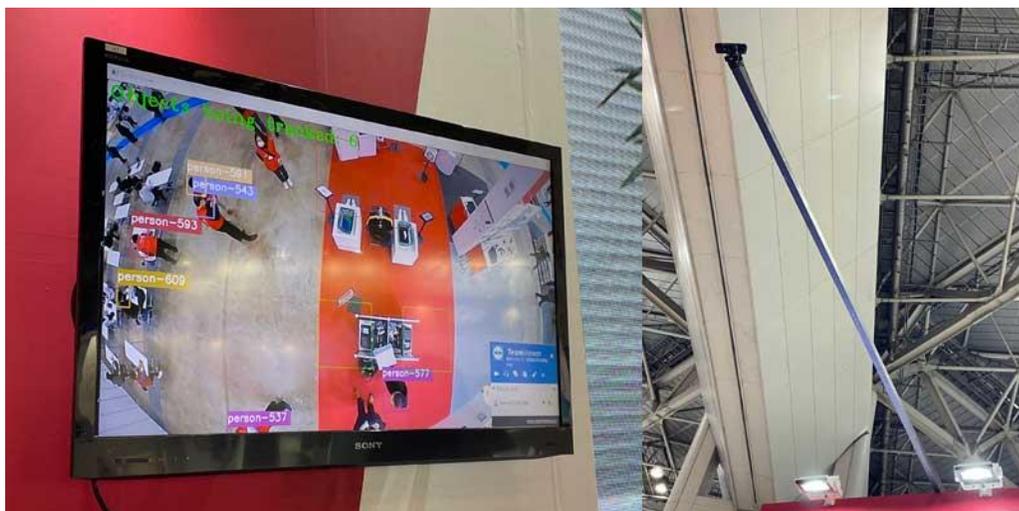
対象：小売・流通系

【海外】

「NRF' 24 RETAIL' S BIG SHOW」（アメリカ・ニューヨーク）

開催期間：2024年1月14日（火）～1月16日（木）

対象：小売・流通系



【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他IRに関するご意見・ご質問は、「IRお問い合わせ」よりお問い合わせください。

【IRお問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

【メールマガジン開始のお知らせ】

株式会社アスタリスクの決算情報、プレスリリース等の企業情報を配信するメールマガジンの配信を行っております。

配信希望の方は、【IRお問い合わせ】よりご連絡ください。

配信の停止も、【IRお問い合わせ】よりご連絡ください。

